



2年学年だより

発行日：平成 30 年 11 月 30 日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一 NO. 7

平成 31 年度生徒会役員選挙が行われました！

11 月 13 日（火）に平成 31 年度生徒会本部役員を選出する立会演説会が、高校と合同で行われました。候補者たちは「これまでの先輩方がつくり上げてきた生徒会活動を、全校生徒がより納得できるものにしていきたい」「生徒会活動とは全校生徒の活動であることを意識していきたい」「本部役員でなかった時に感じていたことを、本部活動にいかしていきたい」など、思いを熱く語りました。同日に投票、翌日開票した結果、平成 31 年度生徒会本部役員が以下の通り決定しました。

生徒会長	2 年 3 組	■	さん
役 員	2 年 2 組	■	さん、2 年 2 組
		■	さん
	2 年 3 組	■	さん、1 年 3 組
		■	さん
	1 年 4 組	■	さん



平成 30 年度 現生徒会本部役員のみなさん



平成 31 年度 新生徒会本部役員のみなさん

30 年度の本部役員は現役員としてこのまま 3 月まで活動し、31 年度の新役員は 12 月から現役員とともに活動します。12 月から 3 月までは 10 人で活動します。

今年度、生徒会本部は「三学年の壁を無くそう ～皆で創る強固なつながり～」という生徒会目標を掲げて、活動しています。30 年度の残り 4 カ月、現役員と新役員とがともに活動しながら、その目標にさらに近づくことを目指していきます。中学校最高学年である 5 期生のみなさんが、これから控えているドッチビー大会や SLM（スマイルランチミーティング）、日々のあいさつなどを 3 月の最後まで後輩をリードし、来春、附属中学校と高校とをつなぐ存在として巣立っていくことを期待しています。

本部役員は附属中生の代表として活動していきますが、附属中学校を作っていくのは全校生徒のみなさんです。開校以来 7 年が経過している南高校附属中学校は、原型こそ固まりつつあるかもしれませんが、生活している生徒一人ひとりには常に変化しています。これまで築き上げてきた土台をもとにしながら、「いま」の附属中生が思い描く理想の学校像を言葉にして、全校生徒で明日の附属中学校をつくっていきましょう。さまざまな生徒会活動（委員会活動や係活動や学校行事など）は附属中生一人ひとりの成長のチャンスです。創意工夫のある生徒会活動を通して、附属中生が心身ともにたくましく成長していくことを願っています。

イングリッシュキャンプ報告文 ～学年だより編～

「挑戦と輝き」

ひんやりとした澄んだ空気。周りには芳しい香りを放つ草木。教室と違う空間で、仲間と協力し合って課題に挑む時、私たちの口から飛び出す英語。考えながら話したり教科書を読んだりする普通の授業とは違い、率直な思いを英語で表現できたと思います。

そんなイングリッシュキャンプで印象深かったのはローロープスです。活動中は日本語禁止、という条件の下攻略プランを練るには語彙力が足りず、意思疎通も上手くいかず苦戦しました。しかし、苦戦したプランを実践すると難関のスパイダーが成功し、私達は手を叩いて喜ぶと同時に十人の団結力が増したのを感じました。言葉にしないと自分の考えや気持ちが伝わらない。だから自分の思いを英語にする。そうして仲間と一緒に課題をクリアしていくことで英語を話すことへの抵抗感が薄れていきました。間違いを恐れずに英語を口にすることができるようになったのです。もちろん、新しい単語を学べた、という知識の向上もありました。しかし、英語で伝えようと挑戦する姿勢が身についたことが、何よりもイングリッシュキャンプで私たちが得た大事なものだと思います。

また、学年全体でも今回のキャンプを通して得られたものがありました。それはナイトプログラムのレクやキャンドルファイヤーで深めた学年の絆、そして一体感です。中心で静かに光を放つ一つひとつの火は小さいものでしたが、全てのキャンドルに火が灯るとあたりはその柔らかな光に包まれ明るくなりました。その様子は私たちの学年そのものでした。一人ひとりの輝きが少し小さくても、全員が集まることでそれは大きな光を放ち周りをも包み込む。そう思うと全ての火が灯った瞬間、学年が一つになったように感じました。

来年に向けて、挑戦する姿勢を持って英語の力を伸ばし、カナダの方々との会話を楽しめるようになりたいです。そして成長した6期生の姿を見せられるよう努力したいです。

「“英語力”以外にも得たもの」

10月17日から三日間、御殿場でイングリッシュキャンプを行いました。

インキャンを行った、国立中央青少年交流の家は富士山の麓にあり自然に囲まれた緑豊かな場所でした。雨が心配されましたが、大きく天気が崩れることはなく、気持ち良く過ごすことができました。

今回私達は、「Let's grow with family」という学年スローガンをもとに英語でコミュニケーションを取りながら様々な活動を楽しみました。

二日間でローロープス、イラストレーション・エクストラネーション、チームビルディング、オリエンテーリングの四種類のアクティビティをグループごとに、そして最終日には、パイレーツというアクティビティを学年全体で行いました。イラストレーション・エクストラネーションでは、英語で指示を出し絵を描いたり、チームビルディングでは、たくさんコミュニケーションを取り、仲間と協力したりしました。アクティビティの中でも特に人気だったのがローロープス。木と木の間にクモの巣のように張られたロープの間をみんなで当たらないようにくぐり抜けたり、スラッグラインを落ちずにみんなで移動したりなど協力が必要なものでした。英語を使って相談し、助け合いながらの活動で、全員が成功できなくても班の団結力が高まるなどとても充実したものでした。

このような活動を通して、ジェスチャーを交えながら自分の考えをどうにか伝えようと頑張る姿が見られたり、友達の意外な一面を知ってより仲を深め合ったりすることができました。団体として行動することや、コミュニケーション力や団結力を高めたりなど、英語力の向上以外にも様々な面で学年全体160人で成長することができました。今後もさらに成長し続けて、来年のカナダへとつなげていきたいです。

左頁のイングリッシュキャンプ報告文は、国語の授業で取り組んだものです。授業は「説明の仕方を工夫する。～文種を選んでインキャン報告文を書く～」という学習単元で、7期生向けのリーフレット、7期生向けの作文、小学6年生向けの新聞、2学年保護者向けの学年だよりという4つの文章の種類からひとつを選び、イングリッシュキャンプの学びや思い出を綴りました。

2学年保護者向け学年だよりとして書いた作文は、自分たちの成長したことや、この経験を今後どのようにいかしていきたいかを内容として入れることを確認し、書きあげました。生徒たちの思いがお家の方々に届いてくれば、と願います。また、7期生向けの作品は実際に7期生に読んでもらったり、小学6年生向けの作品は学校説明会等で披露したりする予定です。

イングリッシュキャンプからの、学年集会



11月27日(火)7時間目に、学年レクとして、イングリッシュキャンプで楽しんだパイレーツを行いました。アリーナにはなんと！インキャンでお世話になったイングリッシュアドベンチャーのBOSSことマイクさんも登場！マイクさんも観戦してくださるなか、学級委員さんの進行によりパイレーツが展開されました。クラスの枠を越えて6期生みんなで楽しめる雰囲気、インキャンに行って一回り大きくなったなど感じています。

EGG 講座 ～法教育講座～

10月27日(土)に、EGG講座『弁護士による法教育講座』が行われました。神奈川県弁護士会より4名の弁護士の方を講師にお招きし、前半は柔道場で模擬裁判を、後半は各教室で模擬裁判についてグループごとに話し合いを行いました。



模擬裁判では、被告人と証人を1組■■■■さんと4組■■■■さんが、シナリオに沿って演じてくれました。後半の話し合いでは、「被告人は有罪か？無罪か？」の証拠について検証をし、理由とともに発表しました。最後にキャリア講義として、弁護士を目指そうとしたきっかけや、弁護士として大切にしていることなどのお話を伺いました。普段なかなか直接触れる機会のない法の世界を垣間見ることができ、充実した時間になりました。

BOSS 子のつぶやき

2年生の大きな行事を終えて、日常の学習が戻ってきました。期末テストが控えていたこともあったか、授業の様子は良い雰囲気、一つひとつの課題や活動にきちんと取り組む様子が見られます。いいね！6期生。個人の取り組み、集団としての成長、これからも2本柱でいこう。